



令和8年4月15日

各位

株式会社 赤阪鐵工所

「低燃費型低速4ストローク機関 AT33L形完成」

赤阪鐵工所は、超低燃費を実現した低速4ストローク機関「AT33L形」を完成し、令和8年4月15日に完成記念式典を行いました。

AT33L形（749kW×200min⁻¹）は、多くのお客様にご愛顧戴っているAXシリーズの後継として低燃費性能と環境負荷低減を追求したATシリーズの初号機にあたります。

2050年のゼロエミッション社会実現に向け各種新燃料エンジンの開発が進められていますが、供給体制確立には時間が必要となっています。低燃費ディーゼルエンジンは、乗組員の皆様の取扱い性や造船所様の工程などに殆ど影響することなく、足元の段階的な温室効果ガス削減に貢献するものと考えております。

AT33L形は、ロングストロークによるエネルギーの有効活用、シミュレーションによる吸排気効率・燃焼室形状の最適化、ミラーサイクルの採用による熱効率の向上により、従来機種であるAX33B形735kW仕様に対して約5%燃費性能を向上しました。さらに、低回転速度とすることで、大口径プロペラとの組み合わせによる燃料消費量低減効果も期待できます。

ミラーサイクルはNO_x低減効果も担っており、低燃費と環境規制適合を実現しています。

ATシリーズは現在、完成したAT33L形のほか、1471kW仕様であるAT33形を設定しております。順次ラインナップの拡充を進め、よりよい社会に貢献して参ります。

